

# 施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 10 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 総務課
				課長 杉木 隆司
施策	8	生活安全対策の推進	関係課	観光商工課 商工振興係

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	町民	犯罪被害、交通事故にあわない、起こさない。		基本事業	1 交通安全・防犯意識の高揚
			2 交通安全・防犯設備の充実	町民	交通事故や犯罪被害にあわない。
			3 消費者保護対策の推進	町民	消費者被害にあわない。
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や幼児、児童や生徒、歩行者や運転者など、町民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図ります。</li> <li>道路区画線、ガードレールやカーブミラーなどの交通安全設備の整備を図り、危険箇所の解消に努めます。</li> <li>防犯意識の高揚と、防犯灯・防犯カメラなど防犯設備の整備を図ります。</li> <li>消費生活センターと連携し、相談しやすい体制をつくり、広報等を通じて消費に関する正しい知識の普及や被害を防止するため意識啓発を図ります。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	交通人身事故発生件数	件	実績値	73	73	70
			目標値		70	67	64	61	58	55
B	刑法犯認知件数	件	実績値	86	75	64	78			
			目標値		84	81	79	76	73	70
C	過去1年間に、消費者被害を受けた町民の割合	%	実績値	8.4	7.1	9.5	6.6			
			目標値		8.1	7.8	7.5	7.2	6.9	6.6
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 交通人身事故統計年報により実数を把握 ※1月～12月の数値</p> <p>B) 刑法認知件数が増えると、身近で犯罪にあう町民が増加すると考えたため成果指標とした。 群馬県防犯推進レポートにより実数を把握</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が減少すれば消費者被害にあっていないといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p>
-------------------	---

目標値設定の考え方	<p>A) 交通人身事故発生件数(町内)は、本町の人口が毎年2%減少していることも勘案し、成り行きでは毎年2件減少すると考える。目標として毎年3件の減少を目指す。【交通人身事故第一当事者市町村別居住状況(人口10万人あたり(2016))沼田市:404人、片品村:281人、川場村:304人、昭和村:399人、みなかみ町:423人】</p> <p>B) 刑法認知件数は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。目標では毎年3件ずつ減少させることとする。【(刑法認知件数(2016))県:14,006件、利根沼田管内:386件、みなかみ町86件】</p> <p>C) 平成29年度アンケート結果では、「過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。」が8.4%となっている。消費者被害が減少すればだまされることも減少すると考え、2022年度には約2%削減の6.6%を目指す。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。</li> <li>歩行者、運転手ともに交通ルールを遵守する。</li> <li>地域ぐるみで防犯意識を高め、犯罪にあわないようにする。</li> <li>自衛意識(防犯グッズ所持、戸締まり、危険な場所へは行かない等)を持って行動する。</li> <li>悪質商法など、消費に関する知識を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携し、交通安全設備の整備を図る。</li> <li>交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。</li> <li>信号や停止線、横断歩道など公安委員会への要望事項について、現状及び必要性を具体的に伝える。</li> <li>地域の防犯活動を支援し、防犯意識を高める。</li> <li>警察等の関係機関と連携し、非行や犯罪の未然防止に努める。</li> <li>消費者自身の知識向上と相談機能を充実させ、消費者の保護を図る。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者ドライバーの事故が多く、運転免許証の自主返納しやすい環境作りが求められている。</li> <li>振り込め詐欺や悪質商法、ネット関連、架空請求などの特殊詐欺犯罪は、ますます巧妙になり被害額が大きくなる傾向にある。</li> <li>空き巣や自動車盗難は減少傾向にあるが、ここ数年増加傾向にある。</li> <li>ストーカー・配偶者からの暴力事案は件数こそ減っているものの、重大な結果につながることもあり、また、児童虐待事案は増加する傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路区画線の引き直し、ガードレールやカーブミラーの設置や修繕など、交通安全対策を進めてほしい。</li> <li>通学路の安全対策を進めてほしい。</li> <li>運転免許自主返納に伴い、運転経歴証明書の発行手数料の助成やバスカードなどの助成を求める意見がある。</li> <li>防犯カメラの設置を推進してほしい。</li> </ul>

施策	8	生活安全対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	杉木 隆司

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	① 交通人身事故件数は、平成30年度の70件から51件と19件減少した。 ② 刑法犯の認知件数は、平成30年度の64件から78件に14件増加した。 ③ 1年間の間に消費者被害を受けた町民の割合は、全年齢で平成30年度の9.5%から6.6%に減少した。年代別では、30代が最も多く、12.7%だった。
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	① 交通事故件数は、沼田警察署管内で平成30年度の292件から260件と32件減少しているが、沼田市が196件が185件の11件減、片品村は12件が8件と4件の減、川場村が4件が6件と2件増、昭和村が10件で変わらずであり、みなかみ町の減少が最も多い。負傷者数は、管内で400人が350人と50人減少したが、内みなかみ町は33人で最大減、沼田市は262人が253人の9人の減、片品村は16人が9人と7人の減、川場村は7人が10人と3人増、昭和村は、14人が10人と4人の減であった。 ② 刑法犯の認知件数は、管内で前年より減少したのが沼田市、川場村、増加したのがみなかみ町、片品村、昭和村であった。人口1,000人あたりにすると、みなかみ町4.1件、沼田市3.1件、片品村3.2件、川場村1.8人、昭和村5.4人であった。みなかみ町は、群馬県内でワースト24位、管内で昭和に続き2位だった。 ③ 令和元年度の沼田市消費生活センターへの相談件数は、総件数437件と前年度と比べ54件減少した。内訳は、沼田市306件で58件減少した。片品村14件で1件減少、川場村8件で3件減少、昭和村27件で6件減少、みなかみ町75件で17件の増であった。
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	① 交通事故発生件数は、目標値64件に対して51件と13件減少し、目標値を大きく上回った。暖冬で降雪量が少なかったのが要因かもしれない。 ② 刑法犯認知件数は、目標値79件に対して78件と1件減少し、目標を上回った。県内全体の刑法犯も毎年減少しているが、悪質なケースが目立っているという。 ③ 過去1年間に消費者被害を受けた町民の割合については、目標値7.5%に対して6.6%と0.9ポイント減少し、目標値を上回った。	

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1	交通安全・防犯意識の高揚	人	実績値	1/101	1/96	2/101
			目標値		0/100	0/95	0/90	0/85	0/80	0/76
	B 身近で犯罪にあう不安を感じている町民の割合	%	実績値	33.1	36	41.7	40.6			
			目標値		30.0	29.0	28.0	27.0	26.0	25.0
2	交通安全・防犯設備の充実	%	実績値	49.1	51.4	53.2	53.2			
			目標値		49.0	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0
	B 市町村別人口1000人当たりの犯罪発生状況県内順位	位	実績値	21	23	24	19			
			目標値		21	21	21	21	21	20
3	消費者保護対策の推進	件	実績値	41	51	58	75			
			目標値		42	43	44	45	46	47
4			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 交通安全・防犯意識の高揚	① 交通人身事故件数は減少し、死傷者数も大きく減少している。住民や町を訪れる方たちの命・身体を守るため持続した取り組みが必要になる。 ② 刑法犯の認知件数は、県内では15年連続減少しているが、全国的に見ると手口が悪質で、高齢者が標的にされる事件などが多発している。	① 各季の交通安全運動時の啓発活動や街頭指導、こども園や学校での交通安全教室など啓発活動を行うと共にPTAや警察、教育委員会、地区役員等と連携した活動を行っていく。 ② ネット詐欺や高齢者を狙った詐欺まがいの行為には、啓発チラシや防災メールを活用した注意喚起や県で実施している高齢者や子どもを対象にした出前防犯講座を積極的に活用していく。
2 交通安全・防犯設備の充実	① カーブミラーやガードレールの老朽化による劣化があり、それらを改修する必要がある。また、交通安全施設として必要な場所の確認を行い設置を行っていかなければならない。 ② 夜間歩行者が通行する道路の点検(暗い箇所の把握)、女性や高齢者・子どもなどにとって、防犯上危険な場所の確認を行い、防犯設備を整備する必要がある。 ③ 高齢者ドライバーの事故が多発している。	① 各行政区や関係機関から要望・情報提供のあった交通危険箇所や老朽化した安全施設について、計画的な整備を進める。緊急性がある場合必要に応じ早急に対処を行う。 ② 犯罪行為の抑止力として、大きな役目を果たすのが防犯カメラであるため、警察や行政区、関係機関と連携し、設置箇所の選定を行い計画的に設置を行う。 ③ 後付け踏み間違い防止装置購入補助金の利用促進を図る。
3 消費者保護対策の推進	高齢者をターゲットにした詐欺犯罪や詐欺まがいの行為が増加している。また、送りつけ商法や巧妙な詐欺行為が後を絶たない。	詐欺商法の情報やクレーリングオフ等契約トラブルの対処の相談ができる、消費生活センターについて広報等で広く町民に周知する。高齢者を対象に詐欺被害等防止付電話機の導入を促進する。
4		

## 08\_生活安全対策の推進

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000001	防犯意識啓発事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	150,750 円						
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		群馬県沼田警察署等からの防犯チラシ等を各世帯へ回覧のするための事務。 また、必要に応じて、防犯啓発品を購入し配布する。	特殊詐欺防止機能付き電話機等購入費補助金制度を導入し、高齢者の被害防止に努めた。	事業実績							
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚				緊急メール配信回数							
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題							
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	13	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
											4	1	回	

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000002	防犯パレード事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	78,968 円						
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		毎年10月～11月に水上小学校金管バンドの生徒演奏により、みなかみ町防犯協会の各種団体が、防犯啓発を呼びかける防犯パレード		事業実績							
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚				パレード参加者数							
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題							
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	13	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
											課題なし	165	173	人

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000003	交通指導隊運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,114,683 円						
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		四季ごとの交通安全運動や、町内で行われるイベント等において交通安全指導を行い、もって交通秩序の確立及び交通事故の防止に努める。	指導員ごとの出勤回数を平準化し、特定の指導員に過度な負担がないよう心がけた。新任の指導員1名がいたので、警察官に講習を依頼し交通誘導の安全・技術向上を図った。	事業実績							
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚				出勤時間・出勤回数							
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題							
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	12	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
											小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通整理をすべて交通指導員に出勤してもらうのではなく、費用や話し合いがつかば、民間の警備会社に一部委託を検討。	379・1309	381・1311	時間・回

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000004	交通安全意識啓発事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,658,581 円						
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進		四季の交通安全運動などを通じ、交通安全に対する意識啓発を行う。	自動車運転に不安のある高齢者が、運転免許証を自主返納した場合の記念品の贈呈や、後付けの自動車アクセル踏み間違え防止装置の補助制度を実施した。	事業実績							
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚				交通安全イベント実施回数							
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題							
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	12	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
											課題なし	38	36	回

## 08\_生活安全対策の推進

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000005		利根沼田交通安全センター運営費負担事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	61,000 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				交通センター管理費負担金の支払い事務。センターへの負担金を支払うことにより、運転免許更新者及び交通安全教育を実施、交通事故を未然に防ぐ交通環境の醸成に役立っている。	-	事業実績				
	基本事業	01	交通安全・防犯意識の高揚						町内人身事故発生件数				
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	12	70	51	件
課題なし													

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000001		防犯設備維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,108,917 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				町が管理する防犯灯の電気料金の支払と照明器具交換等の修繕を行うことによって、町民の安全・安心を推進する。	なし	事業実績				
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実						修繕箇所数・設置箇所数				
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13	3・374	1・374	箇所
行政区をまたぐ場合の防犯灯の設置費及び管理方法。							地域ごとの平等性を図るため、防犯灯の新設はできる限り行政区に行ってもらいたい。						

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000002		防犯灯設置費補助事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	843,283 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				・行政区等が設置する防犯灯の設置費の補助(2分の1以内で新規は上限3万円、更新は1万円)	防犯灯の設置費の2分の1要件を撤廃し、上限も新規4万円、更新2万円に引き上げ、18件の申請があった。	事業実績				
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実						申請数				
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13	9	18	件
防犯灯の設置は町で行うべきとの意見がある。							引き続き、補助制度を使って防犯灯は各行政区で設置していただき、電気料等維持管理も行ってもらう。						

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000003		防犯協会運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	151,680 円			
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				犯罪のない明るい町づくりをめざし、防犯活動を推進するための組織である防犯協会の会議等を開催する。	地域安全パレードの開催をもって、総会とした。	事業実績				
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実						会議等開催件数				
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13	0	1	回
課題なし							総会単体で招集すると、30分とかからない。会の趣旨的には非常に重要な組織であるが。						

## 08\_生活安全対策の推進

令和元年8月16日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業	000005	駐在所用地管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	234,181 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進	月夜野駐在所、須川駐在所用地を土地所有者から町が借り受け、沼田警察署に貸し付けている。		-		事業実績			
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					貸付面積(月夜野・須川)			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	課題なし				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	13	
								平成30年度	令和元年度	単位	
								375・503	375・503	m <sup>2</sup>	

令和元年8月16日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業	000006	防犯設備整備事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	681,340 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進	防犯カメラ等、防犯設備の整備を行う。		月夜野地区に2箇所(後閑・小川島)、水上地区に4箇所(藤原2・湯原2)、新治地区に2箇所(師田・新治中部室)に防犯灯付き防犯カメラを設置。		事業実績			
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					整備数(累計設置数)			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	要望に基づき設置に対応しているが、効果的な設置場所の検討が必要となる。				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	13	
								平成30年度	令和元年度	単位	
								7(27)	8(35)	箇所	

令和元年8月16日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業	000007	防犯対策費負担事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	506,225 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進	賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて町の防犯対策の推進を図る。 H29年度より事務事業を1本化した。		-		事業実績			
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					負担金等支払い件数			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	課題なし				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	13	
								平成30年度	令和元年度	単位	
								5	5	件	

令和元年8月13日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業	000008	交通安全対策施設維持管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,433,791 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進	交通安全施設について、各行政区からの要望や道路状況等を勘案し、必要に応じて整備を行う。		ガードレール2箇所10m、カーブミラー12基を整備。		事業実績			
	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実					要望に対する設置率			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
根拠	無	組織	総務	課	消防・防災	係	主に行政区長からの要望書により、必要と思われる物は順番に整備しているが、交付金の対象にならないグリーンベルト、区間の長い区画線やガードレールなど、予算規模から道路改修時ではないと要望に応えられない物も多い。				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	12	
								平成30年度	令和元年度	単位	
								69	65	%	

## 08\_生活安全対策の推進

令和元年8月2日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業		000001	消費生活センター運営費負担事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,165,000 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				沼田市消費生活センターに業務委託。契約や取引に関する消費者トラブルで困ったときの相談窓口を開設している。	消費生活講座や広報活動を行った。	事業実績					
	基本事業	03	消費者保護対策の推進						沼田市消費生活センター相談件数(みなかみ町分)					
根拠		有	組織	観光商工	課	商工振興	係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業		会計	1	款	7	項	1	目	1	平成30年度	令和元年度	単位
H 23 ~ 年間												58	75	件
												消費生活センターの認知度の向上。 相談件数の増加、内容の複雑化に伴い相談員を1名増加する。また、相談員が会計年度職員へ移行することに伴い経費が上がるため、拠出金の算出方法を当年度経費決算方式に変更する。		

令和元年8月2日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業		000002	消費に関する知識普及事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	90,849 円		
施策体系	施策	08	生活安全対策の推進				消費生活を送るうえで、身の回りに潜む危険に関する知識を蓄え、備えるために、消費に関する正しい知識を広く周知し、個人の意識啓発と消費生活の安定を図る。	県事業及び消費生活センターと連携し、啓発活動を行った。啓発パンフレットを作成し、町内の中学生全員に配布した。	事業実績					
	基本事業	03	消費者保護対策の推進						消費者に関する啓発活動					
根拠		有	組織	観光商工	課	商工振興	係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業		会計	1	款	7	項	1	目	1	平成30年度	令和元年度	単位
H 1 ~ 年間												7	10	回
												広報掲載、啓発チラシ回覧等による知識の蓄積。 引き続き、県事業及び消費生活センターと連携し、消費トラブルに関する啓発活動を行う。		